

令和 8 年度 中央保育園外壁塗装等改修工事

建 築 改 修 図

A－00	表 紙 ・ 図 面 リ ス ト
A－01	改 修 特 記 仕 様 書 1
A－02	改 修 特 記 仕 様 書 2
A－03	改 修 特 記 仕 様 書 3
A－04	改 修 特 記 仕 様 書 4
A－05	配 置 図 ： 案 内 図 ： 面 積 表
A－06	平 面 図
A－07	立 面 図 1
A－08	立 面 図 2
A－09	軒 天 井 伏 図
A－10	現 況 写 真 ： 図 面 写 真

辰 野 町

[illegible]

4-1

外壁改修工事

共通事項

・ポリマーセメントモルタル
ポリマーセメントモルタルの種類

(4.2.2)

合成ゴム系、アクリル系、エチレン-酢ビ系等		接着強さ (N/mm2)		
曲げ強さ (N/mm2)	圧縮強さ (N/mm2)	標準時	湿潤時	低湿時
6.0以上	20.0以上	1.0以上	0.8以上	0.5以上

表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。

透水性 裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

・ポリマーセメントスラリー

(4.2.2)

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張接着性 (材齢28日)	曲げ性能 (72時間)	吸水性 (72時間)	耐久性 (劣化曲げ強さ)
3以上	3%以下	0.5N/mm2以上	5.0N/mm2以上	15%以下	5.0N/mm2以上

保水係数 0.35～0.55

粘調係数 0.50～1.00

・吸水調整材

(4.2.2)

項目	全固形分 (%)	吸水性 (g)	接着強さ (N/mm2)	界面破壊率 (%)
品質・性能	表示値±1%以内	30分間で1g以下	0.98以上	50%以上

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

4-2

外壁改修工事

コンクリート打放し仕上げ外壁

1. ひび割れ部改修工法

※樹脂注入工法

(4.1.4) (4.3.4～4.3.6)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	※150～250	※130	・

注入材料

(4.2.2)

※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形)

・

検査 (コア採取) ※行わない

(4.3.4)

・行う (採取り部の補修方法:)

・Uカットシール材充てん工法

(4.1.4) (4.2.2) (4.3.5)

充てん材料	品質・規格等	備 考
・シーリング用材料	※1 成分形又は2 成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法

(4.1.4) (4.2.2) (4.3.6)

シール材料	品質・規格等
・パテ状エポキシ樹脂	
・可とう性エポキシ樹脂	

2. 欠損部改修工法

(4.1.4) (4.2.2) (4.3.7)

シール材料	品質・規格等
・エポキシ樹脂モルタル	
・ポリマーセメントモルタル	

4-3

外壁改修工事

モルタル塗り仕上げ外壁

1. 既存モルタル塗りの撤去

・行う (・全面 ・図示の範囲 ・その他 (全体の3割とする))

2. ひび割れ部改修工法

・既存モルタル撤去工法 (範囲は図示 撤去部分の補修は、3. 欠損部改修工法による)

※樹脂注入工法 (※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面)

(4.1.4) (4.4.2) (4.4.5)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	※150～250	※130	・

注入材料

(4.2.2)

※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024 低粘度形又は中粘度形)

・

検査 (コア採取) ※行わない

(4.3.4)

・行う (採取り部の補修方法:)

・Uカットシール材充てん工法

(4.1.4) (4.2.2) (4.4.6)

充てん材料	品質・規格等	備 考
・シーリング用材料	※1 成分形又は2 成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・シール工法 (※既存モルタル面 ・既存躯体コンクリート面)

(4.1.4) (4.2.2) (4.4.7)

シール材料	品質・規格等
・パテ状エポキシ樹脂	
・可とう性エポキシ樹脂	

・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 (※シール工法の範囲 ・)

(4.4.2) (4.6.3)

4-4

外壁改修工事

タイル張り仕上げ外壁

1. 既存タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面 ・図示の範囲 ・その他 (全体の3割)

撤去範囲 ・下地モルタルまで ・張付けモルタルまで ・タイルのみ

2. ひび割れ部改修工法

改修箇所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面 ・モルタル面)

※樹脂注入工法

(4.1.4) (4.3.4) (4.5.5)

注入工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	備 考
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	※200～300	※	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100	※40	・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	※100～200	※70	・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	※150～250	※130	・

注入材料

※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)

(4.2.2)

検査 (コア採取) ※行わない ・行う (採取り部の補修方法:) 4.3.4)

・Uカットシール材充てん工法 (既存タイル張り撤去面)

(4.1.4) (4.2.2) (4.5.3)

充てん材料	品質・規格等	備 考
・シーリング用材料	※1 成分形又は2 成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う
・可とう性エポキシ樹脂		

・タイル部分張替え工法

(4.1.4) (4.2.2) (4.5.7)

接着剤の種類	品質・規格等
※ポリマーセメントモルタル	
・変成シリコン樹脂	「建設省官民連携共同研究報告書『有機系接着剤を利用した外装タイル・石張りシステムの開発』(建設大臣官房技術調査室監修 平成9年2月)」における「外装タイル・石張り用接着剤の品質基準 (案)」に基づく品質性能試験に適合するタイプ1であって監督職員の承諾するもの又は特記による。
・エポキシ樹脂	
・ポリウレタン樹脂	
・シリコン樹脂	
・タイル部分張替え工法用接着剤	

・タイル張替え工法

(4.1.4) (4.5.8)

伸縮目地調整及びひび割れ誘発目地

(4.5.8) (表4.5.1)

位置 ※改修標仕表4.5.1による ・図示

4-5

外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

①既存塗膜等の除去及び下地処理

既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法

(4.6.3) (表4.6.1～表4.6.4)

工 法	処 理 範 囲	下 地 面 の 補 修
・サンダー工法	※既存仕上面全体 (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする)	4-1又は4-3による
※高圧水洗工法 加圧力 ※30MPa 程度以上	※既存仕上面全体 (既存塗膜の除去範囲は処理面積の劣化部とする)	
・塗膜はく離削工法	※既存仕上面全体	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体	

※下地調整塗材
・ポリマーセメントモルタル (※C-1 ・C-2 ・)

(4.2.2) (4.6.3)

・防水形仕上げ塗材主材を使用

種類、仕上げの形状、工法

(4.1.4) (4.2.2) (表4.2.3) (表4.2.4)

種 類	呼 び 名	仕 上 げ の 形 状
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i ・可とう形外装薄塗材 S i ・外装薄塗材 E ・可とう形外装薄塗材 E ・防水形外装薄塗材 E ・外装薄塗材 S	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状 ・砂壁状
・複層仕上塗材	・複層塗材 C E ・可とう形複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・複層塗材 R S ・防水形複層塗材 C E ・防水形複層塗材 R E ・防水形複層塗材 R S	・ゆず肌状 ・凸部処理 ・凹凸模様 耐水性 ※耐候形 3 種 ・ 上塗材 溶媒 ※水系 ・溶剤系 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ※つやあり ・つやなし ・メタリック 防水形の増塗材 ※行う
・可とう系改修用 仕上塗材	・可とう系改修塗材 E ・可とう系改修塗材 R E ・可とう系改修塗材 C E	・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状

防火材料の指定が必要な場合
※建築基準法に基づき認定を受けた材料とする。

(4.2.2) (15.5.2)

②下地調整材

③仕上げ塗材仕上げ

5

建具改修工事

1. 改修工法の適用

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適 用 箇 所
・アルミニウム製建具	・	・	※建具表による ・図示
・鋼製建具	・外部 ・内部	・	※建具表による ・図示
・鋼製軽量建具	・	・	※建具表による ・図示
・ステンレス製建具	・	・	※建具表による ・図示

2. 見本の製作等

3. 防犯建物部品

4. アルミニウム製建具

外部に面する建具

(5.2.2) (表5.2.1)

種 別	耐風圧性	気 密 性	水 密 性	特見込み(mm)	施 工 箇 所
・A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示
・B種	S-5	・	・	・	・
・C種	S-6	A-4	W-5	100	・

防音ドアセット ・防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 ()

耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 ()

耐熱ドアセット ・断熱サッシ ・適用する 断熱性の等級 ()

表面処理 ※B-1 ・B-2 (※7のウ系 ・ブラッ ・スポンジ)

(5.2.4) (表5.2.2)

屋内建具

表面処理 ※C-1又はB-1
・C-2又はB-2 (※7のウ系 ・ブラッ ・スポンジ)

(5.2.4) (表5.2.2)

5. 網 戸

防虫網

(5.2.3)

網の種類 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製 (SUS316)

形 式 ※外部可動式 ・固定式

6. 鋼製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

(5.3.2) (表5.3.1)

耐風圧性の適用は建具表による

特定防火設備の戸 ・適用する

(5.3.4)

7. 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

(5.4.2)

8. ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

耐風圧性の適用は建具表による

(5.5.2)

施工箇所	鋼材の種類
屋 外	※SUS304 又は SUS430JIL
屋 内	※SUS430 ・SUS304 又は SUS430JIL

表面仕上げ ※H仕上げ ・鏡面仕上げ

(5.5.4)

曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (補強有り)

(5.5.5)

特定防火設備の戸 ・適用する

(表5.5.1)

9. 自動ドア開閉装置

※製造所標準製作規定寸法許容差による

(5.7.2) (5.7.3) (表5.7.1～表5.7.3)

10. 自閉式上吊り引き戸装置

品質規格 ※改修標仕5.8.3による ・製造所標準仕样による

(5.8.3) (表5.8.1)

11. 木製建具

かまち戸の樹脂 かまち () 鏡板 ()

[16.6.2]

ふすまの上張り ※新島の子又はビニル紙程度 (挿入等の裏面は除く)

[表16.6.3]

・鳥の子

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤の44A747[®] t[®] 放散量

[16.6.2]

※規制対象外 ・第三種

12. 建具用金物

マスターキー ※製作する ・製作しない

(5.6.4)

建具用金物

(5.6.2) (5.6.3) (表5.6.1) (表5.6.2)

錠前類は、シンシナ錠錠 (レバーハンドル) とする

なお、錠前類は建具製作所の指定のものとし、監督職員の承諾を受ける

吊金物

・下番 (内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ピボットヒンジ

13. ガラス

※建具表による

(5.12.2)

・ガラスブロック積み (※図示)

ガラスブロック 品質 JIS A 5212によるもの

(5.12.5)

寸 法 (mm)	色 調	パターン	防火認定
	※クリア ・熱線反射 ・乳白 ・カラー ()		※無し ・有り

14. ガラス留め材及び溝

ガラス留め材

(5.12.2) (表5.12.1)

建 具 の 種 類	材 質
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガasket (F1 X部はシーリング材)
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする

(5.12.3)

板ガラスをはめ込む溝の大きさ

改修標仕5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は、(社)日本建築学会JASSI7ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける

15. ガラス用フィルム

名 称

種 類

張り面

性能値

※ガラス飛散防止フィルム

第2種

※内張り ・外張り

飛散防止率 D 1

16. 重量シャッター

シャッターの種類

(5.9.2) (表5.9.1)

・一般重量シャッター	耐風圧性能 () N/m2
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能 () N/m2
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

閉形機能 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式

防火防止機構 ※障害物感知装置 (自動閉鎖型) ・シャッターの二段降下方式

(5.9.2)

一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない

(5.9.2)

17. 軽量シャッター

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用)

(5.10.2) (表5.10.1)

・塗装溶融垂れ547A[®]に4合金めっき鋼板及び鋼帯

スラット 材質 ※塗装溶融垂れめっき鋼板 ・塗装溶融垂れ547A[®]に4合金めっき鋼板及び鋼帯

(5.10.4)

形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304 (厚さ1.5mm)

(表5.10.2)

耐風圧性能 () N/m²

18. オーバーヘッドドア

セクション材

開閉方式

収納形式

ガイドレールの材質

※スチールタイプ

※バランス式

・スタンダード形

・溶融垂れめっき鋼板

・アルミニウムタイプ

・チェーン式

・ローヘッド形

※ステンレス鋼板 (SUS304)

・ファイバークラスタイプ

・電動式

・バーチカル形

19. かざ箱

市販品 形式 ・30組用 ・60組用 ・120組用

6

内装改修工事

1. 改修範囲

既存壁

⑦

塗装改修工事

①

材料

②

下地調整

③

塗装塗り

⑧

環境配慮改修工事

①

アスベスト含有分析調査

②

7μm以上粉じん濃度測定

③

7μm以上含有収付け材の除去（レベル1）

④

7μm以上含有保温材等の除去（レベル2）

⑤

7μm以上含有成形板の除去（レベル3）

⑥

外断熱改修工事

⑦

ガラス改修工事

⑧

屋上緑化改修工事

⑨

9

⑩

PCB含有シーリング材処分

⑪

路盤材料

⑫

路床土の支持力比試験

⑬

路床締固め度の試験

⑭

砂の粒度試験

⑮

透水性アスファルト混合物

⑯

車道部

⑰

歩道部

⑱

透水性アスファルト混合物等の抽出試験

⑲

第一次判定

⑳

現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及びPCB含有分析の要否を判定する

㉑

採取箇所数

㉒

採取箇所

㉓

第二次判定

㉔

専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う

㉕

分析箇所

㉖

分析箇所

㉗

除去処理工事

㉘

除去範囲

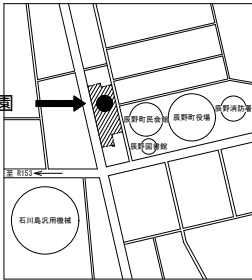
㉙

撤去方法

㉚

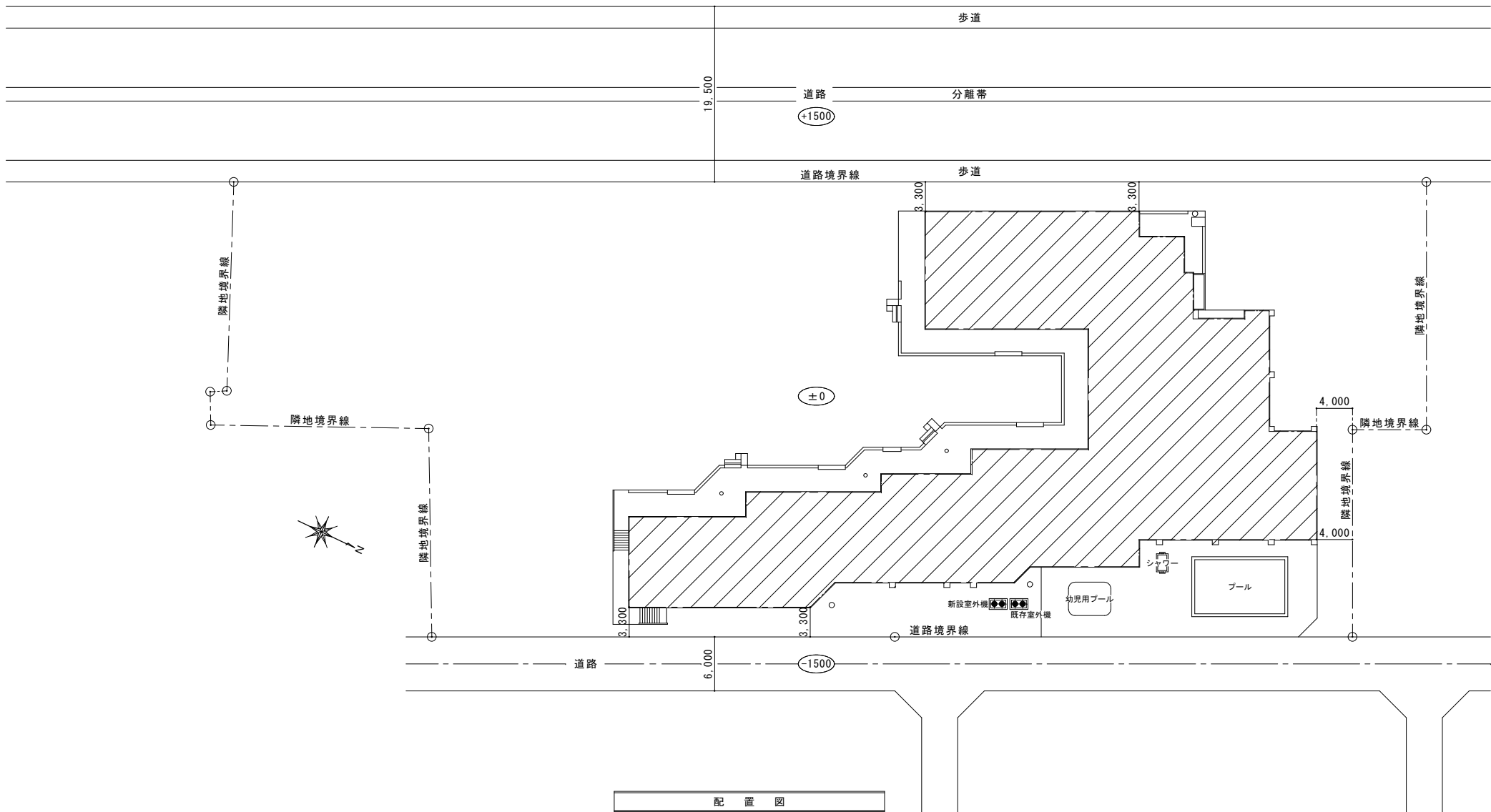
「標準施工要領書（日本シーリング工事業共同組合連合会／日本シーリング材工業会）」による

工事場所：辰野町 中央保育園

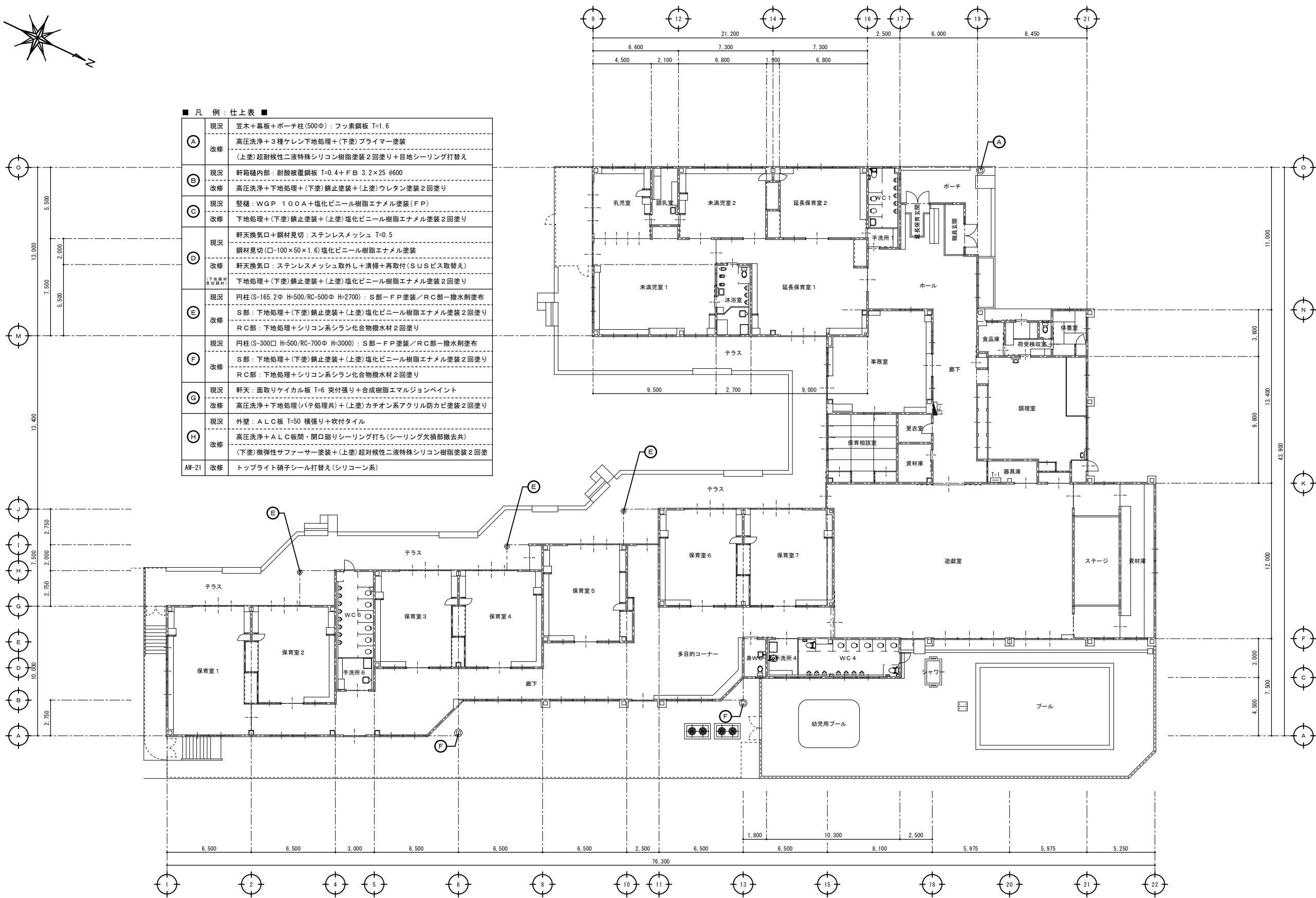


案 内 図

面 積 表 (m ²)			
敷 地 面 積	5,897.70		
	申 請 建 物	既 存 建 物	合 計
建 築 面 積	1,822.35		1,822.35
2 階 床 面 積			
1 階 床 面 積	1,528.15		1,528.15
延 床 面 積	1,528.15		1,528.15
用 途 地 域	第2種住居地域	建 蔽 率	60% > 26.00%
防 火 地 域	指 定 な し	容 積 率	200% > 26.00%
建 物 用 途	保 育 園	最 高 高 さ	12.430 m
構 造	鉄 骨 造	最 高 軒 高	7.810 m



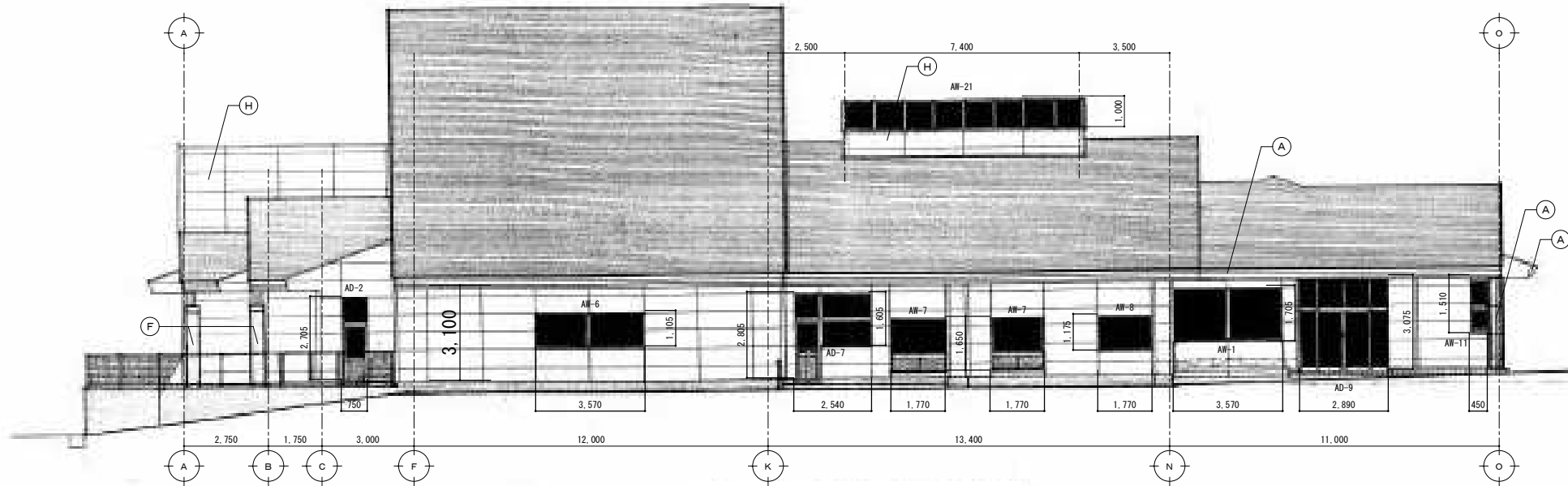
配 置 図



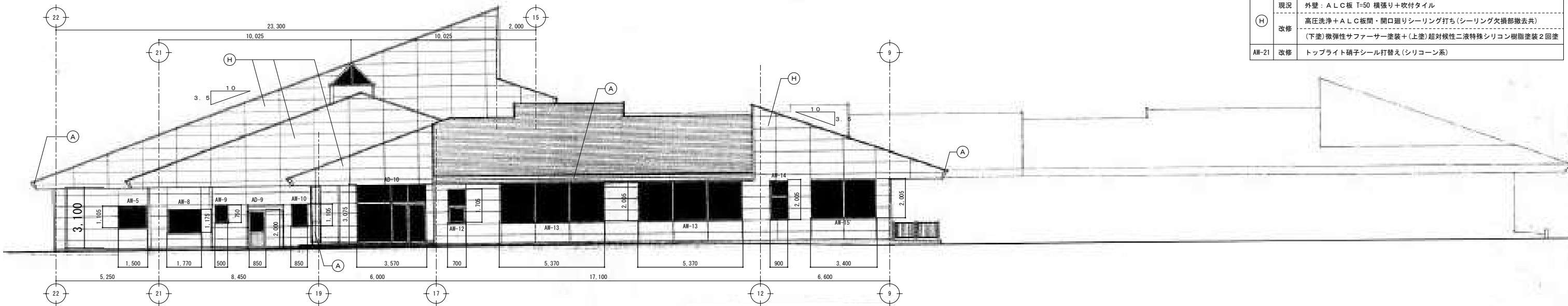
■ 凡 例 : 仕 上 表 ■

(A)	現況	笠木+幕板+ポーチ柱(500Φ): フッ素鋼板 T=1.6
	改修	高圧洗浄+3種ケレン下地処理+(下塗)プライマー塗装 (上塗)超耐候性二液特殊シリコン樹脂塗装2回塗り+目地シーリング打替え
(B)	現況	軒箱樋内部: 耐酸被覆鋼板 T=0.4+F B 3.2×25 @600
	改修	高圧洗浄+下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)ウレタン塗装2回塗り
(C)	現況	壁樋: WGP 100A+塩化ビニール樹脂エナメル塗装(FP)
	改修	下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り
(D)	現況	軒天換気口+鋼材見切: ステンレスメッシュ T=0.5
	改修	鋼材見切(□-100×50×1.6)塩化ビニール樹脂エナメル塗装
	改修	軒天換気口: ステンレスメッシュ取外し+清掃+再取付(SUSビス取替え)
	改修	下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り
(E)	現況	円柱(S-165.2Φ H=500/RC-500Φ H=2700): S部-FP塗装/RC部-撥水剤塗布
	改修	S部: 下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り
	改修	RC部: 下地処理+シリコン系シラン化合物撥水材2回塗り
(F)	現況	円柱(S-300□ H=500/RC-700Φ H=3000): S部-FP塗装/RC部-撥水剤塗布
	改修	S部: 下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り
	改修	RC部: 下地処理+シリコン系シラン化合物撥水材2回塗り
(G)	現況	軒天: 面取りケイカル板 T=6 突付張り+合成樹脂エマルジョンペイント
	改修	高圧洗浄+下地処理(パテ処理共)+(上塗)カチオン系アクリル防カビ塗装2回塗り
(H)	現況	外壁: ALC板 T=50 横張り+吹付タイル
	改修	高圧洗浄+ALC板間・開口廻りシーリング打ち(シーリング欠損部撤去共) (下塗)微弾性サファサー塗装+(上塗)超耐候性二液特殊シリコン樹脂塗装2回塗り
AW-21	改修	トップライト硝子シール打替え(シリコン系)

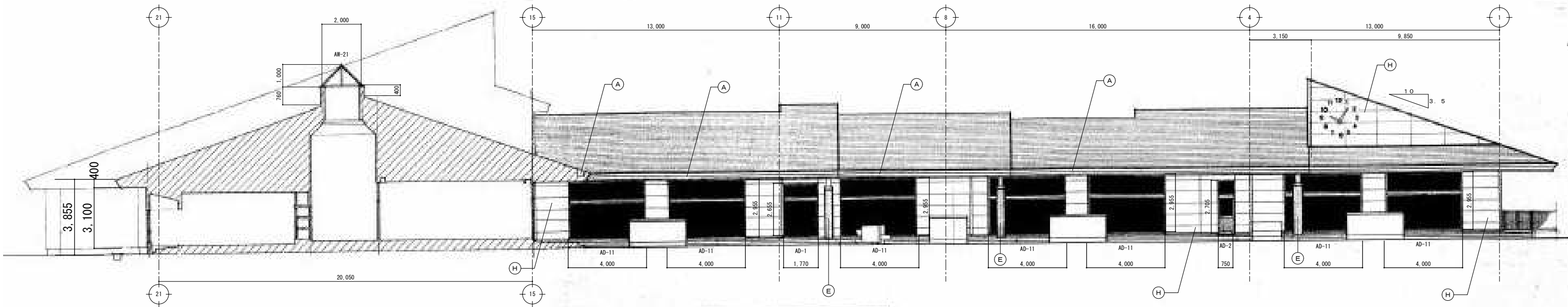
平 面 図



北側立面図

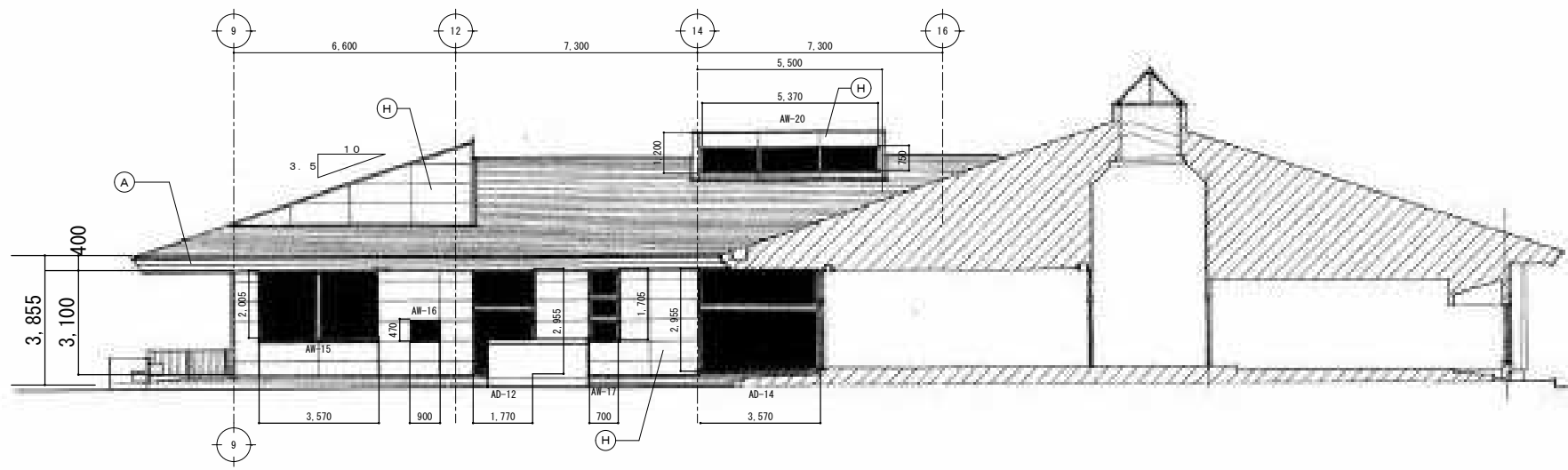


西側立面図



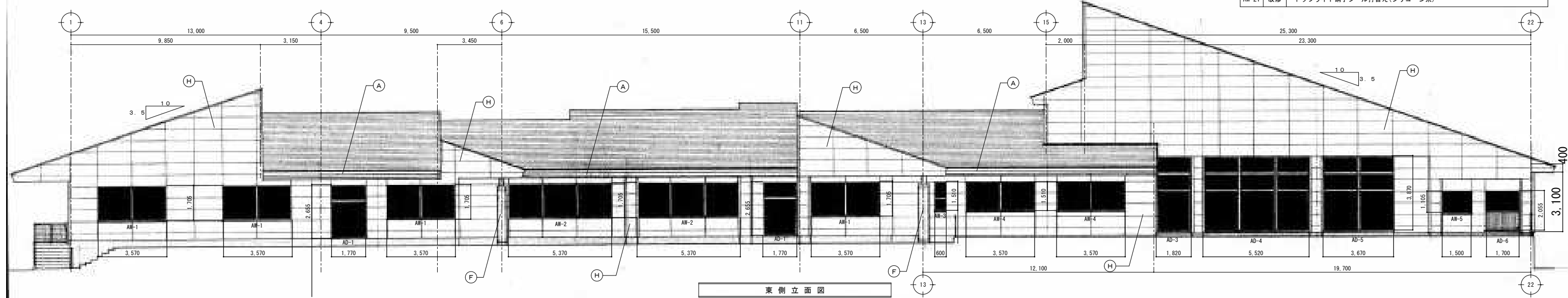
西側立面図

■ 凡 例 : 仕上表 ■	
(A)	現況 笠木+幕板+ボーチ柱(500Φ) : フッ素鋼板 T=1.6
	改修 高圧洗浄+3種ケレン下地処理+(下塗)プライマー塗装 (上塗)超耐候性二液特殊シリコン樹脂塗装2回塗り+目地シーリング打替え
(B)	現況 軒箱樋内部 : 耐酸被覆鋼板 T=0.4+FB 3.2×25 #600
	改修 高圧洗浄+下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)ウレタン塗装2回塗り
(C)	現況 縦樋 : WGP 100A+塩化ビニール樹脂エナメル塗装(FP)
	改修 下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り
(D)	現況 軒天換気口+鋼材見切 : ステンレスメッシュ T=0.5
	改修 鋼材見切(□-100×50×1.6)塩化ビニール樹脂エナメル塗装 軒天換気口 : ステンレスメッシュ取外し+清掃+再取付(SUSビス取替え) 下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り
(E)	現況 円柱(S-165.2Φ H=500/RC-500Φ H=2700) : S部-FP塗装/RC部-撥水剤塗布
	改修 S部 : 下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り RC部 : 下地処理+シリコン系シラン化合物撥水材2回塗り
(F)	現況 円柱(S-300Φ H=500/RC-700Φ H=3000) : S部-FP塗装/RC部-撥水剤塗布
	改修 S部 : 下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り RC部 : 下地処理+シリコン系シラン化合物撥水材2回塗り
(G)	現況 軒天 : 面取りケイカル板 T=6 突付張り+合成樹脂エマルジョンペイント
	改修 高圧洗浄+下地処理(パテ処理共)+(上塗)カチオン系アクリル防カビ塗装2回塗り
(H)	現況 外壁 : ALC板 T=50 横張り+吹付タイル
	改修 高圧洗浄+ALC板間・開口廻りシーリング打ち(シーリング欠損部撤去共) (下塗)微弾性サファーサー塗装+(上塗)超耐候性二液特殊シリコン樹脂塗装2回塗り
AW-21	現況 トップライト硝子シール打替え(シリコン系)
	改修

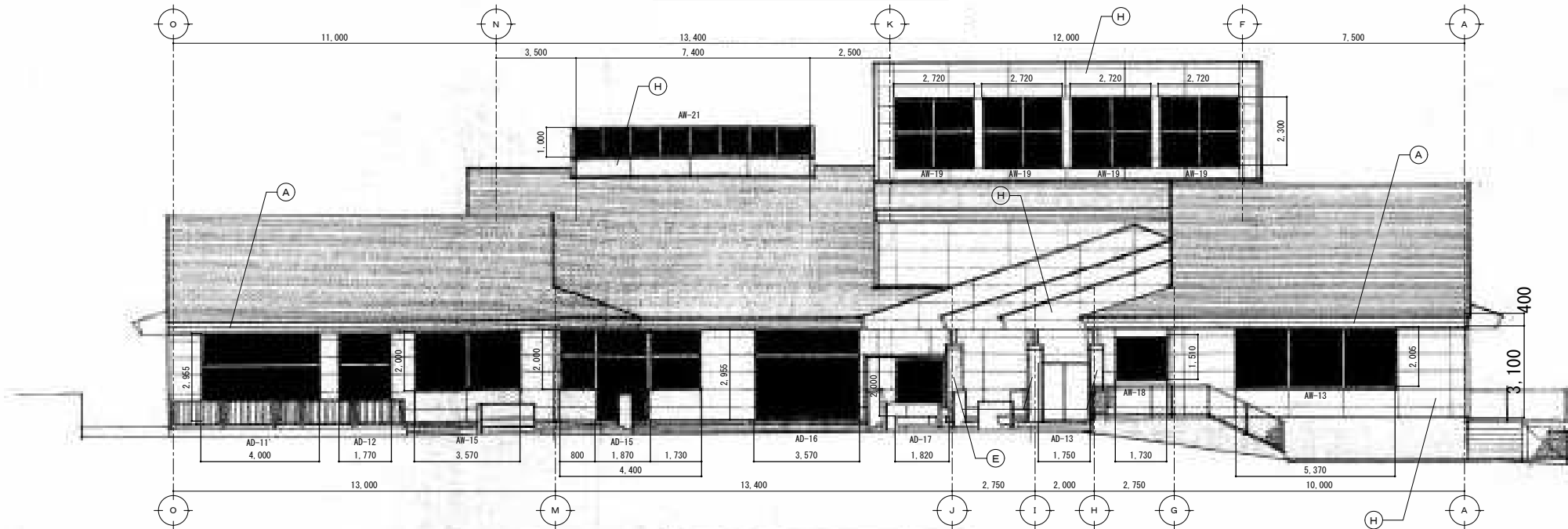


東側立面図

■ 凡 例 : 仕上表 ■	
(A) 現況	笠木+幕板+ポーチ柱(500Φ) : フッ素鋼板 T=1.6
(A) 改修	高圧洗浄+3種ケレン下地処理+(下塗)プライマー塗装 (上塗)超耐候性二液特殊シリコン樹脂塗装2回塗り+目地シーリング打替え
(B) 現況	軒箱樋内部 : 耐酸被覆鋼板 T=0.4+FB 3.2×25 #600
(B) 改修	高圧洗浄+下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)ウレタン塗装2回塗り
(C) 現況	縦樋 : WGP 100A+塩化ビニール樹脂エナメル塗装(FP)
(C) 改修	下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り
(D) 現況	軒天換気口+鋼材見切 : ステンレスメッシュ T=0.5
(D) 改修	鋼材見切(□100×50×1.6)塩化ビニール樹脂エナメル塗装 軒天換気口 : ステンレスメッシュ取外し+清掃+再取付(SUSビス取替え) 下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り
(E) 現況	円柱(S-165.2Φ H=500/RC-500Φ H=2700) : S部-FP塗装/R部-撥水剤塗布
(E) 改修	S部 : 下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り R部 : 下地処理+シリコン系シラン化合物撥水材2回塗り
(F) 現況	円柱(S-300□ H=500/RC-700Φ H=3000) : S部-FP塗装/R部-撥水剤塗布
(F) 改修	S部 : 下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り R部 : 下地処理+シリコン系シラン化合物撥水材2回塗り
(G) 現況	軒天 : 面取りケイカル板 T=6 突付張り+合成樹脂エマルジョンペイント
(G) 改修	高圧洗浄+下地処理(パテ処理共)+(上塗)カチオン系アクリル防カビ塗装2回塗り
(H) 現況	外壁 : ALC板 T=50 横張り+吹付タイル
(H) 改修	高圧洗浄+ALC板間・開口廻りシーリング打ち(シーリング欠損部撤去共) (下塗)微弾性サファースー塗装+(上塗)超耐候性二液特殊シリコン樹脂塗装2回塗り
AW-21 改修	トップライト硝子シール打替え(シリコン系)



東側立面図

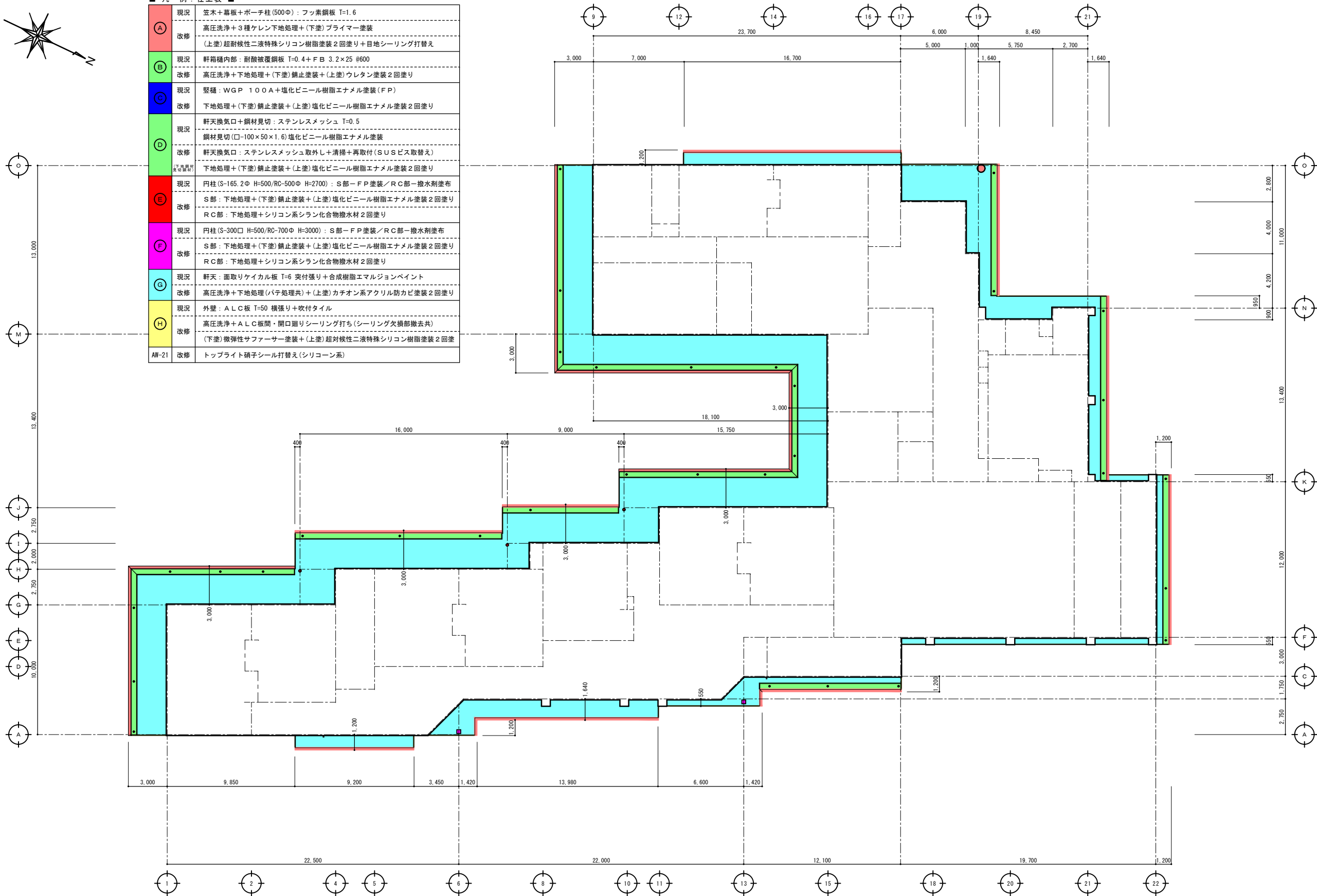


南側立面図

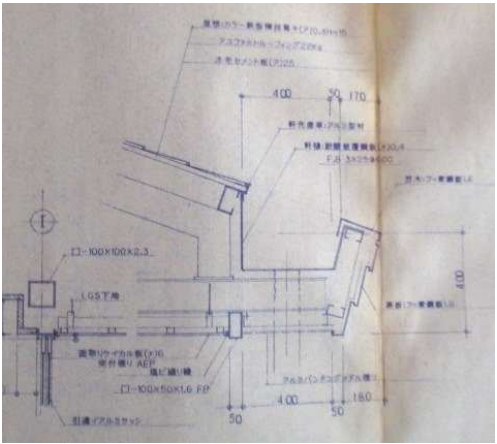


■ 凡 例：仕上表 ■

A	現況	笠木+幕板+ポーチ柱(500Φ)：フッ素銅板 T=1.6
	改修	高圧洗浄+3種ケレン下地処理+(下塗)プライマー塗装 (上塗)超耐候性二液特殊シリコン樹脂塗装2回塗り+目地シーリング打替え
B	現況	軒箱樋内部：耐酸被覆銅板 T=0.4+F B 3.2×25 #600
	改修	高圧洗浄+下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)ウレタン塗装2回塗り
C	現況	縦樋：WGP 100A+塩化ビニール樹脂エナメル塗装(FP)
	改修	下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り
D	現況	軒天換気口+銅材見切：ステンレスメッシュ T=0.5
	改修	銅材見切(口=100×50×1.6)塩化ビニール樹脂エナメル塗装
	改修	軒天換気口：ステンレスメッシュ取外し+清掃+再取付(SUSビス取替え)
E	現況	下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り
	改修	軒天換気口：ステンレスメッシュ取外し+清掃+再取付(SUSビス取替え)
F	現況	円柱(S-165.2Φ H=500/RC-500Φ H=2700)：S部-FP塗装/RC部-撥水剤塗布
	改修	S部：下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り RC部：下地処理+シリコン系シラン化合物撥水材2回塗り
G	現況	円柱(S-300Φ H=500/RC-700Φ H=3000)：S部-FP塗装/RC部-撥水剤塗布
	改修	S部：下地処理+(下塗)錆止塗装+(上塗)塩化ビニール樹脂エナメル塗装2回塗り RC部：下地処理+シリコン系シラン化合物撥水材2回塗り
H	現況	軒天：面取りケイカル板 T=6 突付張り+合成樹脂エマルジョンペイント
	改修	高圧洗浄+下地処理(バテ処理共)+(上塗)カチオン系アクリル防カビ塗装2回塗り
I	現況	外壁：ALC板 T=50 横張り+吹付タイル
	改修	高圧洗浄+ALC板間・開口廻りシーリング打ち(シーリング欠損部撤去共) (下塗)微弾性サファースー塗装+(上塗)超耐候性二液特殊シリコン樹脂塗装2回塗り
AW-21	改修	トップライト硝子シール打替え(シリコン系)



軒天井伏図



□ A □

□ B □

□ C □

□ G □

□ D □



□ E □

□ F □

□ H □